

I 基本情報

1. 交付対象事業の名称

コミュニケーションロボットを活用した高齢者の見守りと災害時安否確認情報の電子@連絡帳への連携

2. 事業概要

当市は、在宅医療介護連携(多職種連携)「電子@連絡帳」(東三河ほいっぷネットワーク蒲郡市)の事業を実施しており、医療介護関係者が得た支援対象者(市民)の情報を、官民で連携し支援を行う仕組みが整っている。

一方、平時・有事共に、支援対象者(患者)自身から情報を収集し連携する仕組みとして、コミュニケーションロボットをこれに加え活用を目指したい。

コミュニケーションロボットはテキストデータを音声データに変え、高齢者に体調を伺ったり、高齢者が音声で答えたものがテキスト化されスマートフォン等のアプリに送られてくるもので、体調などを家族が見守ることができる。この機能を家族だけではなく、行政やケアマネジャーなどが一括管理することで、現在電話などで聞き取りしているものを一括で高齢者に送り回答をデータ化する。コロナ禍で訪問などに制限がある中、フレイルチェックや健康状態の確認をコミュニケーションロボットを利用し行う。その結果をデータでまとめ管理することができる。

電子@連絡帳に回答データが取り込めるように開発を行うことで、誰がどういった状態かを多職種で情報共有でき、支援が必要な方にはすぐに支援を行うことができる。

電子@連絡帳は愛知県内でも多くの自治体が医療介護連携支援ツールとして利用している

II 計画

○実装計画(2022年度)

1. 実装方針の概要

コミュニケーションロボットを実際の要支援者に利用してもらい、音声データとテキストデータの変換、集約、利用方法を検討する。システム開発は、電子@連絡帳にデータ取り込み口を作り、災害時オプション内のマップへの反映を行い、第4四半期からの稼働を目指す。

2. スケジュール・四半期毎の実施事項



3. 経費項目

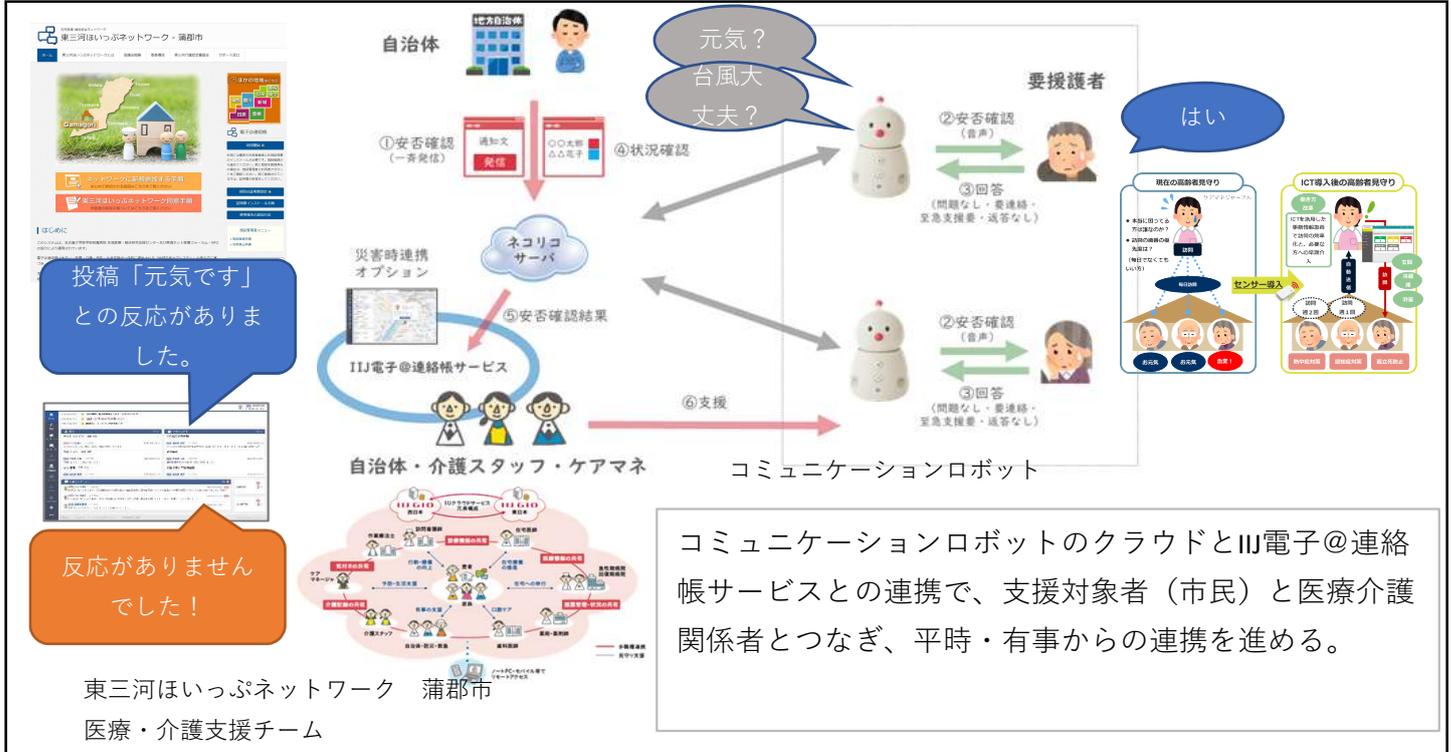
(単位:千円)

総合計	21,379	ソフト経費計	21,379	ハード経費計	0
-----	--------	--------	--------	--------	---

4. サービスイメージ(本項目は、欄内に収まらない場合、資料の添付可)

コミュニケーションロボットは利用者と見守る側双方向のやり取りができ、ユーザーインターフェースは話す、ボタンを押すなどの簡単な動作ですむためデジタルデバイスが苦手な方でも利用しやすい。

また、電子@連絡帳と連携した場合にも、既に多くの医療・介護関係者が利用しているデータ連携基盤を利用するため抵抗なく利用可能である。



5. 相互運用性の確保の取組

電子@連絡帳は県内で導入している市町村との広域連携協定締結により、相互運用による地域間連携の促進に寄与できるシステムとなっている。電子証明書の承認によるログイン等、セキュリティも確保されており、医療・介護関係者とも相互の利用が可能である。